

クラウドファンディング

協賛金募集

福島県飯舘村

東日本大震災と

火災で途絶えた

「山津見神社の

例大祭を復活

させたい！」

2025年12月4日（木）～6日（土）の3日間、福島県飯舘村の山津見神社例大祭が、新たな文脈をたずさえて復活します。このプロジェクトは、単なる「伝統行事の復活」ではありません。

原発事故と長い避難生活を経て再び人が戻り始めた今の飯舘村で、「自然への信仰」や「人と自然が共に生きる」とはどういうことか」という、私たちの根本にある問いを見つめ直し、現代にふさわしい、新たなかたちの“祭り”をつくっていきます。

かつての祭りを知る住民の記憶や語りを受け継ぎながら、その精神やにぎわいを、これからの世代につなげていけるように、来年・再来年と継続できる形で“更新”して開催できることを目指します。

現在 CAMPFIRE にてクラウドファンディングで協賛金を募集しております。

ご支援と応援のほど、よろしくお願いいたします。



山津見神社例大祭の復活に向けて

山津見神社の天井絵



修復プロジェクト



茅屋根茶屋と屋台の復活



山津見神社は震災前、オオカミ信仰で知られており、東北全土に崇敬者を抱え、3日間の例大祭では寒い冬場にも関わらず2～3万人の参拝者が集まる神社でした。拝殿に設置された約250枚の狼の天井絵は、飯舘村の重要な文化財の一つとしても知られています。

原発事故に起因する避難指示により、例大祭は小規模化され、更に2013年4月1日、神社の拝殿が火災にあい、狼の天井絵と共に焼失してしまいました。2016年には焼失した天井絵の修復プロジェクトが、東京藝術大学保存修復日本画科の協力とNPO法人ふくしま再生の会、和歌山大学の加藤久美教授とサイモン・ワーン特任教授により実施され、拝殿が再建されました。

しかし、今日に至るまで例大祭は小規模化されたまま、地域の人々の記憶の中にある三日三晩続く祭りの光景は徐々に薄れ、全国から来ていた崇敬者たちの足も長らく遠のいています。

しかし今年1月、地域の老人会の新年会で「祭りの茶屋と屋台を復活させたい」と帰村した地域住民の声が上がりました。その一声をきっかけに現在、昔の祭りの光景を知る帰村民と移住者、村外からのサポーターが例大祭の大々的な再興に取り組んでいます。

震災から14年、飯舘村の自然信仰を改めて見つめ直し、今の飯舘村に関わる様々な人々と共に賑わいを取り戻していくプロジェクトに、皆さまもぜひ参加していただきたいと思っています。ぜひお祭り当日に参加いただくとともに、応援をよろしくお願いいたします。

山津見神社神社例大祭実行委員会

現金振り込みでの支援いただける方

クラウドファンディングでの支援が難しい方は現金での振り込みを受け付けております。右の口座にお振込みいただきましたら、下記の申請票をご記入いただき、郵送、メール、FAXのいずれかにてお送りください。

5万円以上のご支援いただいた場合、例大祭当日、境内にてお名前を掲示させていただきます。どうぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

郵送先：〒960-1802 福島県相馬郡飯舘村深谷二本木前5-1

図図倉庫内 山津見神社例大祭実行委員会

MAIL：info@zutto-soko.com / FAX：0244-26-5224

【振込先】

ふくしま未来農業協同組合
飯舘支店

普通0034787

ヤマツミジンジャレイタイサイ
ジッコウイインカイ

フリガナ お名前			
電話番号			
ご住所	〒		
振込元口座	銀行	支店	普通
(口座名義)			
振込金額	円	(5万円以上の場合) ご希望の掲示名	

本件に関するお問い合わせ先：山津見神社例大祭実行委員会 矢野 MAIL:info@zutto-soko.com